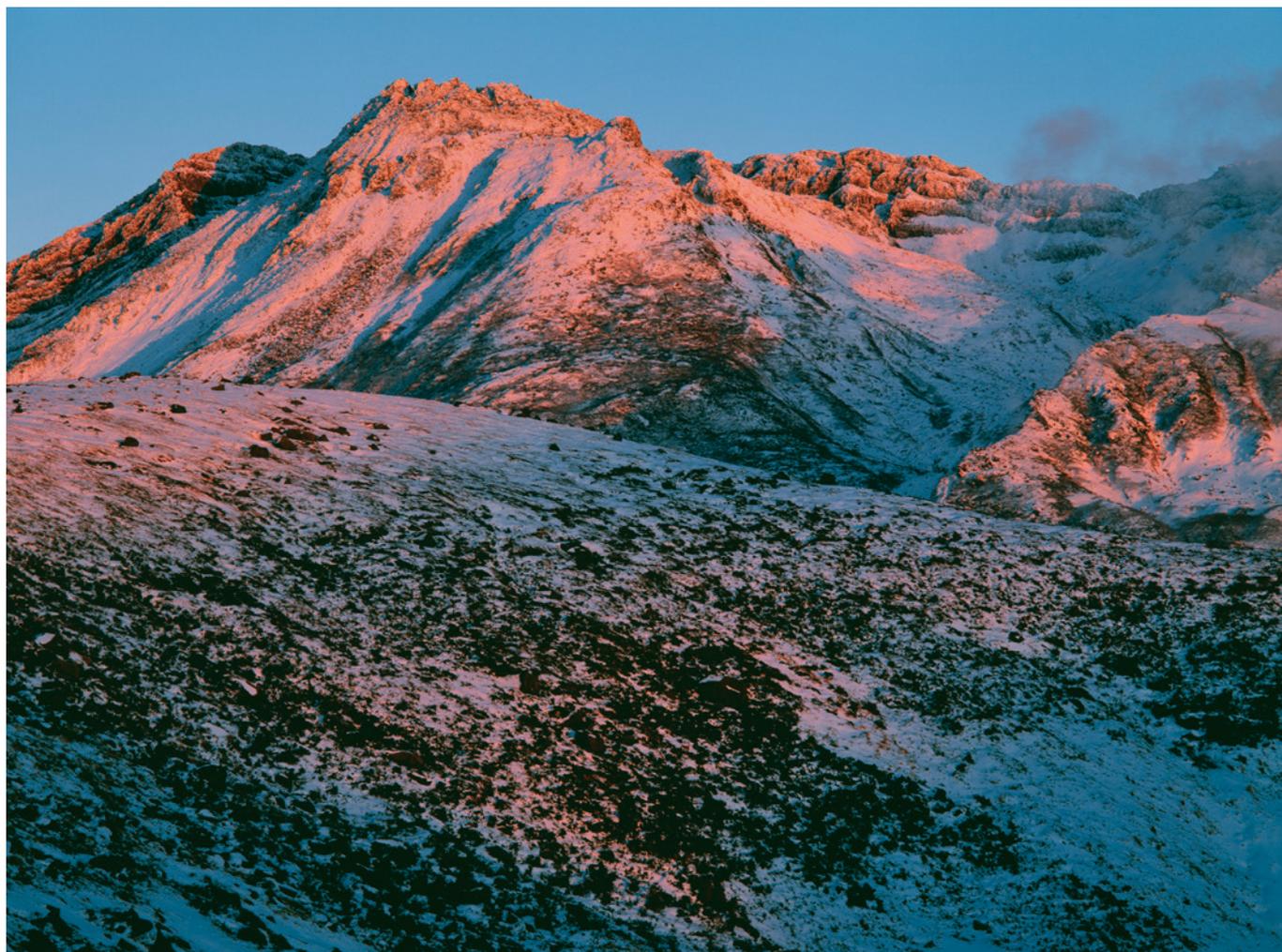


市議会だより

令和4年2月1日 No.70



～名峰 烏海山の四季～より 「烏海山初冬の夕映え ー 御浜から ー」 白旗史朗 氏 撮影(裏表紙に解説)

12月定例会

新型コロナウイルス感染症の影響等を踏まえた子育て世帯に対する臨時特別的な給付金の12月末に対象者一人当たり10万円を一括給付するための補正予算を可決

ホームページはこちらから

酒田市議会



目次

12月定例会の概要、代表質疑、委員会審査、各議連の改選、政務活動費の公表について	P2～P3
一般質問／19人が登壇	P4～P10
議会活動日誌	P11
12月定例会審議結果一覧	P12
令和3年の主な活動状況	P13
次回定例会の開催予定、傍聴案内	P14

令和3年12月10日から23日まで14日間の会期で開催されました。詳しい内容を知りたい方は、市ホームページから議会中継の録画をご覧ください。3月中旬に市役所本庁舎、総合支所、図書館、コミュニティセンターに備える会議録をご覧ください。

12月定例会

令和3年度一般会計・特別会計補正予算をはじめ、酒田市都市計画税条例の一部改正や酒田市開発許可等の基準に関する条例の一部改正についてなど市長提出議案25件ほか、請願2件、議員提出議案1件を審議しました。議案は、各委員会の審査、議論を経て本会議で採決が行われた結果、すべて可決・承認・同意されました。請願は、すべて採択されました。

代表質疑

提案された議案に対する質疑で、12月14日に会派等から代表して1人が行いました。質疑と答弁の要旨は、次のとおりです。

共産党 市議会団 市立保育園給食調理業務委託でのきめ細かい食事対応は

議員 市立保育園給食調理業務委託は、委託業者が保育園の調理場で調理を行い、調理が完成したことに對して委託料を払うという請負委託であるが、現場で働く労働者に対して、保育園側が直接指示や指揮命令がでず、委託業者に行わなければならない。子どもたちの食事は、年齢ごとに食事の提供の仕方が違う。離乳食、刻み食、年齢ごと一人ひとりの量も違う。また味つけの問題、アレルギーに對する対応など、細かい対応が求められる。こうした子どもたちのきめ細かい食

市長 厚生労働省が策定した労働者派遣・請負を適正に行うためのガイドや内閣府が策定した地方公共団体の適正な請負（委託）事業推進のための手引きによると、委託者が受託者側の現場責任者に指示することは問題ないとされている。適正な給食調理業務委託を行うため受託者側の現場責任者を配置してもらい、業務の指揮命令系統を明確にするよう仕様書で位置付けていきたい。業務委託の詳細な内容は現場の保育士や調理員、保護者などの意見を

仕様書に反映させ、きめ細やかな食事が日々提供できるようにしていきたい。

常任委員会

12月15日に各常任委員会、23日に総務常任委員会を開催し、議案12件と請願2件を審査しました。

■総務常任委員会

酒田市都市計画税条例の一部改正など議案2件と沖繩戦の戦没者の遺骨を含む土砂を埋め立て等に使用しないよう求める請願など請願2件を審査しました。

審査の結果、議案はどれも原案を妥当と認め、全会一致で可決すべきものと決定しました。

請願については、2件とも全会一致で採択すべきものと決定しました。

また、12月23日に追加提案された請負契約の変更

（飛鳥情報通信基盤整備業務）の議案1件を審査しました。

審査の結果、議案は原案を妥当と認め、全会一致で可決すべきものと決定しました。

■民生常任委員会

酒田市とびしまリンプラザ設置管理条例の制定、酒田市観音寺駐車場設置管理条例の廃止など5件を審査しました。

審査の結果、議案はどれも原案を妥当と認め、全会一致で可決すべきものと決定しました。

■建設経済常任委員会

酒田市手数料条例の一部改正や土地の処分、財産の無償貸付など4件を審査しました。

審査の結果、議案はどれも原案を妥当と認め、全会一致で可決すべきものと決定しました。

予算特別委員会

12月16日に専決事項の報告、一般会計、風力発電事業特別会計の補正予算など5件を審査しました。

今回の補正は、新型コロナウイルスウィルスワクチンの3回目の接種に係る経費の増額および財源調整、繰越明許費の設定および公共施設管理などに関する債務負担行為の追加などが主なものでした。

審査の結果、一般会計補正予算は起立採択を行い、賛成多数で可決すべきもの、そのほかは、原案を妥当と認め、全会一致で可決すべきものと決定しました。

また、12月23日に追加提案された一般会計の補正予算1件を審査しました。

追加提案された補正予算は、子育て世帯への臨時特別給付金の増額などが主なものでした。

審査の結果、原案を妥当と認め、全会一致で可決すべきものと決定しました。

議員連盟の役員改選

12月20日に各議員連盟の臨時総会を開催し、役員の変更を行いました。

国際交流友好促進 酒田市議員連盟

本市の姉妹都市や友好都市をはじめとする世界の国や地域との友好と都市間交流を促進することを目的とするものです。

会長 高橋 千代夫
副会長 田中 斉
事務局長 池田 博夫

酒田市 私学振興議員連盟

私立幼稚園を含む私立学校の振興を図り、本市の教育振興および教育環境の整備、発展に寄与することを目的とするものです。

代表世話人 高橋 千代夫
事務局長 佐藤 弘

政務活動費の 公表について

政務活動費は、会派等を対象に、議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として会派および会派に属しない議員1人に対し、月額2万5千円を交付しています。

政務活動費報告書は平成28年度分からホームページで公表しています。

公表する内容は、収支報告書、支出内訳書、領収書などです。詳しくはホームページをご覧ください。

■アクセス方法

- ①市ホームページで、「目的から探す」の中の「議会」をクリック
- ②「議会の活動」の中の「政務活動費」をクリック
- ③該当年度、見たい会派等の報告書を選択してクリック

市ホームページは
こちらから



「^{せい がん} 請願」ってなんだろう？ 「^{ちん じょう} 陳情」ってなんだろう??

市民のみなさんの意見や要望を市政などに反映させようとする方法の一つに議会への「請願書」、
「陳情書」の提出があります。

請願書、陳情書は、どなたでも議会に提出することができます。

議会に提出された請願は、その内容に関する委員会で審査され、最終的に本会議で採択(趣旨に賛成)された場合は、政策などに反映されるよう関係者(市長、教育長、関係機関)に送付されます。

また提出された陳情は、各議員に参考として配付されます。

「請願」は…

- みなさんの意見や要望を文書にまとめて議会に提出することです。
- 紹介議員1名以上の署名または、記名押印が必要です。
- 受理された請願書は、本会議と関係する委員会で審査されます。
- 採択、不採択とした請願は、請願者へ審査結果を通知します。
- 採択された請願は、関係者(市長、教育長、関係機関)に送付されます。

「陳情」は…

- 請願と同じように、みなさんの意見や要望を文書にまとめて議会に提出することです。
- 酒田市議会では、紹介議員のないものを陳情とよんでいます。
- 受理された陳情書は、各議員に参考として配付されます。

※提出の締切、書式など詳しくは、議会事務局にお問い合わせください。
なお、市ホームページの議会ページには書式例を掲載していますのでご覧ください。

一
般

質

問



12月21日～23日に計19人が質問を行いました。

質問と答弁の要旨は次のとおりです。

野球場の施設整備



松本 国博
議員

スポーツを行う上で、安全が確保された設備や施設と大会開催の要件を満たす適度な施設も必要となる。しかし、野球において機能を集約しようとする光ヶ丘野球場は、フィールド内の不備、運営施設内の雨漏りの常態化、医務室にはエアコンも整備されておらず、ついには観戦スタンドのお

よそ8割が立ち入り禁止となり、観戦や敵味方に分かれての応援ができないほど状況が悪化している。地区大会はもちろん、練習試合もままならない野球場となっている現状。財政的に厳しい状況である事は承知しているが、財政規模に見合った、通常どおりの練習や試合、地方大会が開催で

きる野球場の施設整備が必要と考えるが所見を伺う。
市長 光ヶ丘野球場は施設内の雨漏りやフィールドの状況も良好ではないと認識している。また照明設備の老朽化により、照明器具が落下する危険性があるため、観覧席の一部を立入禁止としている。令和2年3月に策定した酒田市体育施設整備方針では、本市の野球場機能を光ヶ丘野球場に集約していく方向性を定めており、今後は光ヶ丘野球場だけでなく、スワンスケー

トリックを含め酒田市体育館や国体記念体育館で、どのような整備のあり方を優先させたほうが良いかなど意見を伺う場として、競技団体関係者をはじめ、外部関係者を含めた懇談会を立ち上げ、検討していきたい。
他の質問項目／スポーツ ツーリズム、デジタルを活用した情報発信、水田農業の現状と課題

企業、学校、飲食店などでの検査を大胆に



斎藤 周
議員

国立病院機構・三重病院院長の谷口青洲氏によると、ワクチンを接種していることは感染しないことを意味しない。感染しても基本的に極めて軽症で、本人は良好でも周りの非接種者が感染して重症化になることがあると指摘し、感染者ゼロが続いていても、単に見つかっていないだけで、感染

源は存在しているとも指摘している。しかし、この検査は、厚生労働省はPCR検査を広げると医療崩壊が起これるとして検査を抑えてきた。今、ワクチン接種と合わせて検査を幅広く行うことで、新型コロナウイルスの感染を断っていくことが必要である。企業、学校、飲食店などで検査を大胆に

行っていく必要があると考えるが所見を伺う。
地域医療調整監 新型コロナウイルス検査と抗原定量検査は、医療機関などで実施し、医学的判断が伴う。検査キットによる抗原定性検査は、専用の測定機器が必要なく、その場で検査結果が判明するが、精度が低く無症状者に対する確定診断には推奨されていない。店などで検査キットを準備し、多くの人に実施する場合は、抗原定性検査が想定

される結果を適切に判断できない危険性がある。国のワクチン・検査パッケージ制度によれば、検査有効期限が検査日から1日以内とされ、陰性を証明するには繰り返し検査を継続する必要がある、実施するには課題があると認識している。
他の質問項目／米価下落対策、セーフティネットの 十分な部分に



酒田市光ヶ丘野球場

子宮頸がんワクチン （※HPVワクチン）の 情報提供



遠田 敏子
議員

平成25年より本人と保護者の任意によってHPVワクチン接種が開始されたが、接種後の痛みや運動障害の報告が相次いだことで、接種勧奨が中止になっていた。この度さまざまな研究結果のもと、8年を経てワクチン接種が再開された。本市のHPVワクチンの有効性と効果の認識と対象者への

情報提供状況を伺う。HPVワクチン接種が中止となっていた間、年間で約1万1千人が子宮頸がんを発症し、毎年2800人が亡くなっている。令和2年度の通知対象者数と接種率を伺う。8年間の未通知期間における、いわゆるキャッチアップ接種対象者へ国の救済措置の方向性が決定さ

れた場合、本市の考え方を伺う。

市長 HPVワクチンの有効性は国内外の研究で長期にわたって持続することを示唆する結果が示された。本市では、接種勧奨を控えるよう国の通知があった平成25年以降、個別通知はしていなかったが、令和2年および3年に個別通知するよう国からの通知があった際には対象者に通知した。令和2年度個別通知対象者は、428名中接種33名、接種率7.7%。キャッチアップ接種に

は、国の方針などを踏まえ、適切に対応していきたい。

健康福祉部長 キャッチアップ接種が開始された場合は、本市に住民登録をしたまま本市から離れて生活をしている対象者に接種券を発行するなど、生活をしている地域で接種できるように体制を整えていきたい。

録 ド出張登 バーカー

他の質問項目本市のヤングケアラー実態、マイナン

コロナ禍における 本市の観光振興



佐藤 喜紀
議員

本市は豊かな自然環境や優れた食材に加え、歴史、文化に触れることのできる施設や拠点に恵まれている。コロナ禍の影響による生活様式の変化に伴い、3密を回避しやすい屋外や個人・家族など少人数でマイカーを利用した旅行が好まれるなど、観光スタイルにも変化が見受けられる。本市で

は酒田観光戦略推進協議会にDMO、地域商社を設立し、体制強化を図るとしているが、DMO、地域商社による成果について伺う。本市は、酒田北前大使が19人、酒田ふるさと大使が17人、合計36名の観光大使から活躍していただいているが、本市出身である方、北の若関からも大使になっ

ていただき、観光振興を図る考えについて伺う。
市長 地域商社に関しては、酒田観光戦略推進協議会が事業者に委託し、まずイコモース（電子商取引）サイトを稼働させることで、地域産品の販路拡大やマーケティングなどを進めている。

地域創生部長 DMOが実現した場合は、課題を解決するためのタイムリーな補助金を活用できるほか、地域の事業者と連動した地域観光まちづくりを進めてい

子宮頸がんワクチン (HPV ワクチン) 接種について



市ホームページは
こちらから↓



く法人として、本市や事業者の利益となることを手がけていきたい。北の若関は、本市として非常に楽しみな著名人といえる。本市の知名度を高める酒田北前大使が適切と考えており、連携をしながら、本市を紹介していただけばと考えている。

他の質問項目成年年齢引き下げによる成人式への対応、消費者被害の未然防止

過疎地域でも安心 できる生活基盤整備



後藤 仁
議員

旧3町地域の過疎地域で、市道の整備が進んでおらず、逆バンクや崖に傾斜している市道、深い土側溝で年5回の草刈りと土あげをしている市道もある。高齢化が進み、危険な道路、地元管理が大変な道路の整備が待たれる。道路整備の優先順位をどう考えているか。効率や費用対効果などを優先すれば、過疎地域での道路整備はいつまでもできない。過疎対策事業債を有効に使い、速やかに整備すべきである。過疎地域の中山間地域に降る雪は多い。やさしいまちづくり除雪援助事業で、降雪対象となる降雪量の基準はどうなっているか。協力の除雪日数と奨励金に誤差が生じており、地域の降雪状況を詳細に把握すべきと考えるが所見を伺う。

副市長 道路整備の優先順位は、過疎地域に限らず、市全域の各団体からの要望を路線状況、利用特性、交通安全性などの多様な要件を勘案し判断している。
建設部長 優先度選択には、危険度、老朽化状況、狭いでないかなど大きく取り入れる。各総合支所地域の整備状況は平成18年度から令和2年度までで市全体の53.1%である。過疎対策事業債は有利だが、返済が発生する。市全体で財政展望を見極め判断する必要があると考える。

※ HPV = Human Papilloma virus (ヒューマン・パピローマ・ウイルス)

※ DMO = Destination Management / Marketing Organization (ディスティネーション・マネジメント / マーケティング・オーガニゼーション) 観光地域づくり法人

本市の地球温暖化に 対する施策は



泉 後藤 議員

令和3年は※COP26での国際的な温暖化対策や気候変動研究の先駆者、真鍋淑郎氏がノーベル物理学賞を受賞などが話題となった。本市の環境基本計画などの温暖化対策施策は先進市町村と差は大きいと考える。見直しが進む総合計画や環境基本計画とともに、脱炭素政策やカーボンニュート

市の資源を有効活用すべきと考えるが所見を伺う。副市長 現状ではゼロカーボンシティ宣言は考えていない。本市では今年度4月から風力発電事業の開始や酒田市沖での洋上風力発電の導入を検討し、再生可能エネルギー政策を進めてきた。策定中の酒田市総合計画の後期計画で施策を示し、本市独自の再エネ循環都市宣言につなげたい。本市のCO₂排出量は年々減少傾向にあり、本市の公共施設では、電気使用量の削減などを積極的に進めている。市民や事業者さらに周知を進め、クールチョイスの浸透を図りたい。J-クレジット制度の趣旨には賛同でき、まずは制度の周知を進めたい。本市施設の設備更新時や森林でクレジット化できるか検討したい。他の質問項目／文化財保存活用地域計画、中央図書館跡の展示内容は

今年度50名の教育支援員 を60名に



弘 佐藤 議員

今年度、教育支援員をはじめ、学習指導員やスクールサポート・スタッフなどの人員が減員され、そのしわ寄せは学校教育に影響を落としている。来年度からすべての中学校区で本格的に小中一貫教育が始まる。子どもたちが学びやすい学校・学習環境づくりのためにも、本市ができる人員の確保および増員について前向きに検討すべきと考える。教育支援員は前年度より10名減員された。しかしながら、学校からの要望は相当数あったのではないかと推察される。支援を待っているのは子どもたち。学校の要望や児童生徒の実態を踏まえ、令和4年度では、今年度50名の教育支援員を令和2年度と同数の60名にすべきと考える。所見を伺う。

本市の重要事業要望としてきた山形新幹線 庄内延伸運動のゆくえ



博夫 池田 議員

山形新幹線は日本初のミニ新幹線方式で1992年7月に開業し、1999年12月に新庄駅まで延伸された。その後、庄内延伸の実現に向け多くの方々から尽力してきた経緯を踏まえ、市長にJR陸羽西線に対する認識と山形新幹線庄内延伸との関係性についての考え方を伺う。また、どのよう

な理由で陸羽西線高速化促進市町村連絡協議会が解散に至ることになったのか、なぜ市議、県議、商工会議所、自治会の意見を聞かずに陸羽西線高速化促進市町村連絡協議会を解散したのか。県土の一体化には山形新幹線の庄内延伸は欠かせないという思いで頑張ってきた阿部・本間両市長の思

いを引き継いでいくべきではなかったのか、所見を伺う。市長 陸羽西線高速化促進市町村連絡協議会では、山形新幹線の庄内延伸とJR陸羽西線の利用促進などを目的に活動してきた。山形新幹線の庄内延伸では県に要望はしたものの、県は奥羽・羽越新幹線整備を優先する方針であり、活動は限定的であったため、県知事が会長である山形県鉄道利用・整備強化促進期成同盟会などでJR陸羽西線の利



出典：国土交通省東北整備局酒田港湾事務所
カーボンニュートラル化をめざす酒田港

便性向上や、利用促進について活動すべきと判断し、本市議会の承認と構成会員である各首長・各議会から同意を得て解散とした。地元選出県議会議員などには機会をみて説明したい。解散は、現状を勘案して判断をしたが、山形新幹線の庄内延伸は市や庄内開発協議会の重要事項で、実現に向け働きかけていく。

他の質問項目／ICT支援員の配置、部活動指導員配置事業の拡充

経済対策の考えは



直 齋藤 議員

令和3年6月に実施された新型コロナウイルスの影響に関するアンケート調査を見ると、「コロナによる影響が生じている」との項目では、コロナ禍が長期化していることにより、ほぼ全ての業種で売り上げの減少が大きくなっているとの集計結果である。特に飲食店や旅行業に関しては、

地域経済の起爆剤としてキャッシュレス決済キャンペーンの今後の考えを伺う。市長 中小企業への支援は、国、県の制度も必要に応じた措置が講じられているため、その周知を徹底した上、国、県制度の活用を図っていくことが最優先と考えている。その上で、本市の経済状況などを踏まえ、その財源が国から示されること

市外からの誘客に伴う経済対策事業として大きな効果があったと認識している。しかし、還元されたポイントが他地域で消費される可能性があること、今後はこれまで以上の決済が見込まれ、相当額の予算を計上する必要があることから、現時点で再度のキャンペーン実施は考えていない。

他の質問項目／新工業団地造成の考えは

山居倉庫周辺エリアの整備推進は



暢子 江口 議員

国の史跡指定を受けた山居倉庫は本市の観光拠点として、周辺では豊里十里塚線整備や酒田商業高校の解体工事が進んでいる。4車線の両側に文化施設と物販などの商業施設がその機能を備えるという山居倉庫周辺の回遊性についてどう取り組むか。酒田市観光物産館、夢の倶楽協力は商

業高校跡地への移転について、どう話し合いを進めているのか伺う。山居倉庫エリアは、津波ハザードマップではバッファゾーンに該当する。災害時に避難をすることが望ましい区域であることを踏まえて、防災対策、避難訓練などについて、どう取り組んでいるか。今後の文化財保護の観点から

の防災対策・防災計画への取り組みについて伺う。地域創生部長 移動を含め景観を楽しむことが、観光の一つの要素になるものと考えている。来訪者の滞在時間の増加や消費行動、さらに新たな魅力の発見に繋がるよう取り組んでいきたい。商業高校跡地への移転については市長と夢の倶楽協会とで意見交換するなどしており、同整備事業には期待をいただいている。物産機能は酒田観光戦略推進協議会が物産スペースを

借り上げ、協力会の商品を取り扱い扱う予定である。

危機管理監 防災対策は、文化財保護に応じた防災体制が必要となる。土地勘がなく、情報が乏しい観光客の増加が予想され、観光客がわかりやすく安全に避難できる対策を講じていく。



中心市街地

今、どの地域でも高齢化や人口減少、郊外化による中心市街地の空洞化が課題となっている。本市においては、清水屋の閉店により大きな打撃を受け、酒田市の顔が崩れかかっている。中心市街地を再生するには今一度、中心市街地に、人が住みコンパクトで賑わいのある「酒田の顔」づくりをすることが大切だと考える。そのためには街は便利でなければならぬ。住むためにはどうしたら便利な街になるか、また、街並みはどうあればいいか、商業施設や公共交通機関も集中すれば学生や高齢者にも優しい街となる。もう一度住むことが中心市街地の再生において大切なことと思うが、所見を伺う。

中心市街地の再生



浩一 市村 議員

市長 旧清水屋エリアを核とした中心市街地再生協議会が設立され、本市もオプザバーとして参加している。本市も地元経済界と一緒にこのエリアの再生に向け、国の補助事業の活用をはじめ、支援のあり方を検討していきたい。居住誘導策では、長期戦略で支援策を考えていかなければいけないため、総合計画の後期計画の策定の中で、市民、有識者の皆さんの議論を踏まえ考えていきたい。都市機能を支える公共交通の利用により便利なまちを実感していただくため、地域公共交通の改編にあたって利用者の利便性向上と利用者の増加に取り組んでいく。

他の質問項目／観光まちづくり、地域商社の設立を、歴史を活かしたまちづくりさらなるコロナ禍における経済対策の継続を

※ Society5.0
に向けたまちづくり



大壁 洋平
議員

本市の人口は10万人を切り、人口減少がさらに加速度を増して進んでいる現状、人口減少を見据えたまちづくりが必要である。そのために経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会のSociety5.0への取り組みが急務であると考えられる。本市のSociety5.0への取

り組みについて所見を伺う。また、Society5.0を進めていくためにITインフラ整備も必要であり、公共施設を完全WiFiにするとともに、市民が利用しやすい幅広い環境も必要と考えるが所見を伺う。

デジタル変革調整監 Society5.0社会を実現するために、本市のデジ

タル変革調整監 Society5.0社会を実現するために、本市のデジ

持続可能な
市民満足度の向上



富樫 議員

行政職員の役割は、公共の福祉の増進であるが、それぞれの施策に携わる行政職員自身の心身が不満足の状態、つまり満足度が低下している状態では、市民に対して満足のいくサービス提供を行うことはできないと考える。近年は公務員でありながら、例えば、シ

行政職員の役割は、公共の福祉の増進であるが、それぞれの施策に携わる行政職員自身の心身が不満足の状態、つまり満足度が低下している状態では、市民に対して満足のいくサービス提供を行うことはできないと考える。近年は公務員でありながら、例えば、シ

タル変革戦略に沿って、しっかりと取り組んでいきたい。それによって本市が進むべきスマート社会像が、少しずつ具体的に見えてくるのではないかと。国の動向はもちろん、新たに開発されるデジタル技術の情報収集、専門人材の育成、※デジタルデバイドの解消など、市民が日々の暮らしの豊かさを、デジタル変革により実感できるように進めていきたい。ITインフラ整備は、酒田市情報化計画において公衆無線LANの整備

えるが、本市職員の満足度向上について見解を伺う。副市長 自分が成長したという実感、本市の目的を理解し、それに貢献できているという実感はとても大事である。やりがいを持って働ける環境整備や人事制度、研修、採用も含め、やりがいを持って働いていける制度構築を行なっているところである。職員には、仕事

目標を定めており、公共施設では令和4年度末までに17施設を目標としている。令和2年度末現在では46施設とすでに目標を上回っている状況である。公共施設では、老朽化更新と新たな施設の整備の状況を見ながら整備をしていくとともに、民間の施設については、フリーWiFi山形への加盟を促していきたい。

他の質問
項目／公
民連携に
ついて



飛鳥ジオパークガイド養成講座の様子

だ職員にやれやれ言っても、とても市民満足度を上げられないため、スマートワーク推進部会という部長会議を立ち上げ、まず働き方改革として働きやすい職場を作り、それによって、職員満足度を上げ市民満足度の向上に向かっていけるのではと考えている。

他の質問項目／市民へ寄り添う職員の育成、仕事のラスト評価分析

市長 ジオサイトを活用したイベントは、新型コロナウイルスの感染拡大により、不特定多数を対象とした集

鳥海山・飛鳥ジオパーク
を世界ジオパークへ



後藤 啓
議員

鳥海山・飛鳥ジオパークは平成28年の初認定からガイド養成講座、認定商品の開発・販売、出前講座などの活動を重ね、令和3年2月に再認定を受けた。次は世界ジオパーク認定へと周囲の期待は膨らんでいる。新型コロナウイルス感染症対策でジオサイトを活かしたイベントは中止、延期をよぎなくされたと思う。今年度のイベント開催状況とジオガイドの活動状況はどうか。世界ジオパーク認定に向けての課題と必要な事業活動について伺う。世界ジオパーク認定にはビジターセンターの整備が不可欠と思うが、整備の予定、構想を伺う。

市長 ジオサイトを活用したイベントは、新型コロナウイルスの感染拡大により、不特定多数を対象とした集

市有施設の バリアフリー化を



武田 恵子
議員

高齢化社会が進む中、本市の所有する施設のバリアフリー化の基本方針はどのようなになっているのか。高齢の方から新装となった小幡楼のバリアフリー化が不十分との指摘をいただいた。昔の建物を活かしている以上、これで限界である旨の表示ができないものか。義務教育施設の中でも、大規

模中学校では500人以上の生徒と職員が日々活動している。今は誰でも地域の学校に通い、同じカリキュラムで学ぶように配慮する
※インクルーシブの考え方が主流である。車いすのお子さんが、小学校から中学校に進学する際に、エレベーターがあるかないかで悩む家族ができるような状況

は一刻も早く解消すべきと考えるが、いかがか。

総務部長 本市では酒田市公共施設等総合管理計画の中で、バリアフリー化の基本方針を定め、既存建物の改修では、各施設の設置目的に合わせて整備を行っている。

地域創生部長 パンフレットなどで、日和山小幡楼改修のコンセプトの説明とあわせてバリアフリー化が困難であることの説明を記載していきたい。

において、長寿命化改修時、バリアフリーについても位置付けている。今後40年間で、老朽化する学校施設の長寿命化に400億円を超える規模のコストが想定されており、施設全体の課題を解決していく中でエレベーターの設置についても検討していきたい。

県が示す米の生産の目安は、その95%を水田面積比率で残り5%を消費拡大に對する取り組みに応じて市町村へ配分している。中でも消費者ニーズにこたえる生産、流通、販売の推進に對する評価が1%と低いが、本市の米の販売戦略上、不利益を被っていると考えるがどうか。本市の重要な農業の担い手である集落営農法人

本市の農業の現状 ならびに推進方策



伊藤 欣哉
議員

の組織強化をどう図っていくのか考えを伺う。より効率的な水田利用を図るために「人・農地プラン」の策定を目指してきたが、その後のプランの実質化の取り組みと課題を伺う。またカントリーエレベーターのみ殻処理をどう支援していくのか、本市のスマート農業の取り組みの成果と普及性について伺う。

市長 生産の目安が拡大するよう山形県農業再生協議会に對して引き続き強く要望していく。地域の担い手である法人組織が、効率的かつ安定的な農業経営ができるよう、地域内での話し合いや関係機関と課題の共有が大事と考える。農地利用の効率化のためには、さらに集約が必要である。引き続き具体的な支援方策などについても考えていく。もみ殻の有効活用は、畜産農家と水稻農家の連携などさまざまな検討を農業団体と一緒に検討していく。スマート農業の取り組みは、ICTを活用したデータに基づくと米づくりと、それらを使いこなす人材の育成を推進し、安定した生産収量の確保や高品質化といった付加価値につなげていきたい。

体育施設、文化施設、 観光施設などの運営は



安藤 浩夫
議員

本市には、数多くの体育、文化、観光の各施設があるが、維持管理費の節約が重要課題である。LED照明化の現状と検討計画について伺う。また老朽化などで大幅な見直し、統合、廃止が計画されているが、長寿命化対策としての管理メンテナンスの点検、指導をどのように実施し延命化を

図っているのか伺う。近年、突発的な事件が相次いで起きている。本市の防犯カメラは、3年前89台であったが、現在の設置状況と警察からの要望、要請はないのかを伺う。さかた海鮮市場、酒田市観光物産館、酒田市光ヶ丘プールは、条例上、休館日が1月1日しか無く、働く方々のことを考

慮し休館日の増加が望ましいと考えるが所見を伺う。
総務部長 LED照明は、基本的に古いものから順に、そして各地区のコミュニティセンターの優先度を高くして進めている。メンテナンス関係では、施設点検マニュアルを作成し、毎年度、施設点検の結果を確認。結果を加味し、施設修繕計画を検討している。公共施設の防犯カメラ設置状況は、令和2年度末現在、100台である。警察からの防犯カメラの設置要望により、

酒田駅地下道に2台の防犯カメラの設置工事中である。休館日の拡大は、それぞれの設置管理条例では1月1日のみ休館だが、ただし書きで臨時に休館し、または開館することができると規定である。それぞれの指定管理者が働き方改革に取り組む考えがあれば、個別に相談をいただきたい。



穀もみ課題が方法処

他の質問項目／青色防犯パトロールの活動状況と施策

他の質問項目／本市の危機管理体制の構築について

※インクルーシブ = 包み込む、包摂的、みんな一緒。

パートナーシップ制度の導入を



市原 栄子
議員

パートナーシップ制度の導入が、徐々に全国各地の自治体に広まりつつある。同制度は* LGBTQ+などの性的少数者のカップルに対し、婚姻に相当する関係として自治体が認める制度である。現在、全国の5府県16政令市を含む137自治体で実施され、そこに暮らす住民は日本の総人口

の41%を占めている。同性カップルは、一緒に暮らしていても、婚姻関係になれないことで、公営住宅に入居できない、病院での手続きなどで家族として扱われないなど、さまざまな困難に直面している。パートナーシップ制度の普及により、同性カップルが受けられるサービスが増えていくと考

えるが、本市でも制度の導入が行えないか所見を伺う。副市長 ある調査では約8%が性的少数者という結果が出ており、本市にも相当数の方がいると推測している。パートナーシップ制度・ファミリーシップ制度により当事者が享受できる権利は、法に基づく権利に比べ限定的であり、導入によりどのような行政サービスが受けられるか整理、検討が必要と認識している。令和4年度に男女共同参画に関する市民アンケートの

実施を予定しており、制度の導入に関する市民の意見を聞いていきたい。まずは市民の皆さんに多様な性の知識や多様性を尊重する意識の広がりを進めながら、将来的な制度の導入も視野に入れ検討していきたい。他の質問項目/多様性を認め合えるまちづくり、情報弱者・申請弱者への対応充実を

本市の水産業の振興の課題

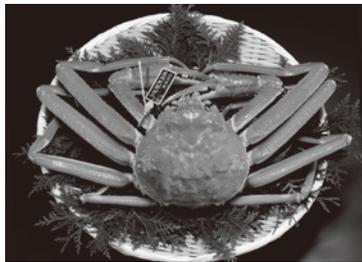


美昭 齋藤
議員

本市の水産業の振興に向けて、平成30年度に策定された酒田市総合計画の中で今後の方向性と主な施策として「水産業を担う人材の確保・育成」「水産資源の確保とブランド化」「庄内浜産水産物の認知度向上・消費拡大」を挙げている。現在、総合計画の後期計画の策定に向け、協議、検討

されているが、総括の現状と課題、方向性について伺う。また、県は令和3年3月に「山形県水産振興計画」を策定したと聞いているが、漁業の担い手不足や気候変動による漁場環境の変化、水産資源の減少など厳しい状況のもと、新しい基本的な計画として策定されたこの振興計画に対する

本市の捉え方、方向性について伺う。農林水産部長 漁業後継者や新規就業者の確保が喫緊の課題であり、今後も新規就業者確保対策を一層強化に取り組む必要がある。また、スルメイカの酒田港への水揚げ促進、高級魚の種苗放流や庄内北前ガニなどのブランド化、酒田フェアの開催など、認知度向上や消費拡大に努めてきた。総合計画の後期計画でも水産業の振興につながるものとなるよう策定していきたい。



庄内北前ガニ

山形県水産振興計画では、持続可能な海面漁業の生産基盤整備など5つを進めるべき基本方針としている。本市としては、県と歩調を合わせ、山形県漁協や漁業者などと一体となり水産業の振興を推進していく。他の質問項目/酒田港本港の浚渫状況、酒田市職員数適正化方針の策定状況

令和3年の一般質問から

～住民の代表として市政の監視と政策立案機能を発揮～

一般質問のテーマ	質問回数
エネルギー施策 (再生可能エネルギー、脱炭素、風力発電)	9(6)
公共施設 (文化施設含む)	8(7)
防災・減災(自然災害)	8(4)
デジタル変革(マイナンバー含む)	7(7)
コロナ関連(医療関連、ワクチン)	7(6)
観光振興	7(6)
生涯活躍、女性活躍、多様性、共生社会	7(5)
学校教育	7(4)

*項目は、実際の発言内容で分類しているため、通告と異なる場合があります。
*質問回数はのべ人数、()は実人数です。

令和3年は議員のべ70人が66項目にわたって一般質問を行いました。中でも脱炭素、風力発電などのエネルギー関連の質問が多く行われ、次いで多かった公共施設に関する質問では、スポーツ施設の老朽化が進んでいることや公共施設の維持管理、防災・減災については、豪雨による冠水の発生が増える中でその対策や避難計画、避難所に関するものも質問されました。また、デジタル変革に関しては、マイナンバーカードの活用やこれからの市の方針を問うものがありました。コロナ関連では、ワクチン接種に関するものが多くあり、経済対策などを含めると、延べ14人、19回あるなど、そのほかにも市への指摘や提案が、さまざまな視点から行われました。住民の意見を代表し、市政につながる一般質問。皆さんもこうした視点から傍聴してみたいかがでしょうか。

* LGBTQ+ … L (レズビアン=女性同性愛者)、G (ゲイ=男性同性愛者)、B (バイセクシャル=好きになる性別を問わない)、T (トランスジェンダー=生まれたときの性別と性自認が異なる人)、Q (クエスチョニング=自分の性のあり方がわからない人)、+ (性が多様であることの包括的な意味)

Diary 議会活動日誌

12月

1日	新議員研修会	14日	各派代表者会議	議会報編集委員会	
2日	各常任委員協議会 総務常任委員勉強会 議会改革推進特別委員会		本会議	21日	本会議
3日	議会報編集委員会	15日	各常任委員会	22日	本会議
6日	議会運営委員会		各常任委員協議会	23日	本会議
10日	12月定例会（～23日） 本会議 議会運営委員会 各派代表者会議		民生常任委員勉強会 建設経済常任委員勉強会		総務常任委員会 予算特別委員会 議会運営委員会
		16日	予算特別委員会 議会運営委員会		
		20日	本会議		

インターネット中継の使い方

タブレット
もOK

- 1** インターネット中継がスマートフォンでもご覧いただけます
URL https://smart.discussvision.net/smart/tenant/sakata/Webview/rd/council_1.html
[アクセス方法] ①市ホームページ[目的で探す][議会] → 「議会中継(外部リンクへ)」



過去の録画映像は、会議名、議員名などから検索してご覧いただけます。

ライブ中継を見る際は「LIVE」のマークがある項目を選びます。録画映像は>を選びます。

本会議開催中は、こちらからライブ中継映像を「再生」でご覧いただけます。録画映像も操作は同じです。

会議録検索システムの使い方

すばやく検索

- 2** 会議録検索システムで本会議での発言を検索できます。
URL <https://ssp.kaigiroku.net/tenant/sakata/pg/index.html>
[アクセス方法] ①市ホームページ[目的で探す][議会] → 「会議録検索」



どちらかを選んでクリック

発言者やキーワード、開催日などから会議録を検索し、閲覧できます。

令和3年第8回12月定例会 審議結果一覧

議案番号	件名	結果
報第24号	令和元年度及び令和2年度酒田市財政健全化判断比率の修正について	報告
報第25号	専決事項の報告について（令和3年度酒田市一般会計補正予算（第7号））	承認
報第26号	専決事項の報告について（損害賠償の額の決定）	報告
議第84号	令和3年度酒田市一般会計補正予算（第8号）	可決
議第85号	令和3年度酒田市介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決
議第86号	令和3年度酒田市風力発電事業特別会計補正予算（第1号）	可決
議第87号	令和3年度酒田市駐車場事業特別会計補正予算（第2号）	可決
議第88号	酒田市都市計画税条例の一部改正について	可決
議第89号	酒田市開発許可等の基準に関する条例の一部改正について	可決
議第90号	酒田市とびしまマリンプラザ設置管理条例の制定について	可決
議第91号	酒田市国民健康保険条例の一部改正について	可決
議第92号	酒田市観音寺駐車場設置管理条例の廃止について	可決
議第93号	酒田市手数料条例の一部改正について	可決
議第94号	琢成学区学童保育所ほか11学童保育所の指定管理者の指定について	可決
議第95号	十坂学区学童保育所の指定管理者の指定について	可決
議第96号	土地の処分について	可決
議第97号	財産の無償貸付けについて	可決
議第98号	スマート農業研修センターの指定管理者の指定について	可決
議第99号	酒田市情報公開・個人情報保護審査会委員の選任について	同意
議第100号	酒田市情報公開・個人情報保護審査会委員の選任について	同意
議第101号	酒田市情報公開・個人情報保護審査会委員の選任について	同意
議第102号	酒田市情報公開・個人情報保護審査会委員の選任について	同意
議第103号	酒田市情報公開・個人情報保護審査会委員の選任について	同意
議第104号	令和3年度酒田市一般会計補正予算（第9号）	可決
議第105号	請負契約の変更について（飛島情報通信基盤整備業務）	可決

12月定例会で審議された請願・意見書

請願	受理番号	件名	請願者	結果
	請願第6号	沖縄戦の戦没者の遺骨を含む土砂を埋め立て等に使用しないよう求める請願	憲法と平和を守る酒田飽海地区実行委員会 代表 齋藤 裕	採択
請願第7号	沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を埋め立てに使用しないよう国に求める意見書採択を求める請願	沖縄戦戦没者の遺骨を含む土砂を埋め立てに使用しないよう求める会 齋藤 孝男、高橋 寛、森谷 功喜、 本多 元子、本多 芳雄、吉田 武、 久留 斉、古澤 幸子	採択	

意見書	議案番号	件名	宛先	結果
	議会第6号	沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を埋め立て等に使用しないよう求める意見書について	衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、 外務大臣、厚生労働大臣、国土交通大臣、 環境大臣、防衛大臣、内閣府特命担当大臣 (沖縄及び北方対策)	可決

令和3年 酒田市議会の主な活動状況

◎議会の開催状況と審議件数など

	会期日数	本会議		議案件数			請願	代表質疑	一般質問
		日数	出席率	市長提出	議員提出	その他			
1月臨時会	1日	1日	100.0%	3件	0件	0件	0件	0人	0人
3月定例会	24日	7日	99.5%	48件	2件	5件	3件	7人	17人
4月臨時会	1日	1日	100.0%	7件	0件	0件	0件	0人	0人
6月定例会	14日	6日	100.0%	20件	1件	0件	2件	1人	18人
7月臨時会	1日	1日	96.4%	3件	0件	0件	0件	0人	0人
9月定例会	22日	6日	100.0%	34件	2件	0件	0件	5人	16人
11月臨時会	7日	3日	100.0%	5件	1件	12件	0件	1人	0人
12月定例会	14日	6日	100.0%	25件	1件	1件	2件	1人	19人
合計	84日	31日	99.8%	145件	7件	18件	7件	15人	70人

◎委員会の開催状況と審査件数

	委員会		協議会
	開催日数	審査件数	開催日数
総務常任委員会	11日	33件(4)	13日
民生常任委員会	7日	23件(1)	9日
建設経済常任委員会	6日	16件(2)	13日
予算特別委員会	14日	38件	0日
決算特別委員会	2日	9件	0日
合計	40日	119件(7)	35日

※()内は請願審査分で内数

◎議会運営委員会等の開催状況

	開催日数
議会運営委員会	32日
議会報編集委員会	15日
議会改革推進特別委員会	7日
委員長会議	1日
各派代表者会議	20日
全員協議会	0日

◎本会議傍聴者数 **148人** (令和2年:144人)

◎行政視察来庁者数 **2団体・20人**
(令和2年:2団体・4人)

来庁者の主な視察内容

- ・酒田市及び酒田市議会のDXの取り組みについて
- ・酒田市交流拠点施設「ミライニ」について

スポット

皆さんの傍聴を
お待ちしております

12月定例会中の傍聴者総数は43人で、内訳は、個人の方が14人、団体の方が2団体29人でした。

議場で開催される本会議および予算特別委員会は、原則どなたでも傍聴することができ、またでも傍聴することができません。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、傍聴者やご家族に発熱などの症状が見られるときは傍聴できません。また、マ



スポットでは、酒田市議会からの
お知らせを掲載しています。

スクの着用や手指の消毒にご協力をお願いします。

傍聴の際には、市役所3階の議場前にある傍聴受付カードに住所・氏名を記入の上、受付箱に入れ、傍聴席に入場ください。間隔を取って着席していただきますので、団体で傍聴を希望する場合は事前に事務局へお問い合わせください。

なお、本会議の様子は、市ホームページと市役所本庁舎、総合支所1階ロビーのテレビでも放映しています。

また、そのほかの委員会についても、原則どなたでも傍聴することができます。受付は、委員会の開会予定時刻の30分前から行い、議会事務局で傍聴受付簿に住所・氏名を記入していただきます。傍聴席の定員は、各委員会5人で、受付順ですが、開会予定時刻の10分前に傍聴希望者が定員を超えた場合は、希望者間の協議や抽選の方法により傍聴人を決めることとなりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

市ホームページは
こちらから↓



次回の定例会は
3月定例会です

3月定例会は、2月22日から3月17日までの24日間の日程で開催される予定です。主な日程（予定）は、次のとおりです。

代表質疑	2月22日
常任委員会	3月2日
	3月3日
	3月24日
予算特別委員会	2月24日
	3月4日
一般質問	3月14日
	3月15日
	3月17日

※詳しい日程は、2月16日に開催予定の議会運営委員会で決まりますので、議会事務局へ問い合わせるか、市ホームページをご覧ください。

3月定例会
請願締切：2月15日（予定）

表紙写真説明

「鳥海山初冬の夕映え
— 御浜から —」

この作品集は、旧八幡町が山岳写真界の第一人者である故白旗史朗氏に依頼し、1996年から3年の歳月をかけて撮影されたものです。雄大な鳥海山の山容、植物群落、紅葉、滝そして落日など、四季折々、時々刻々移り変わる鳥海山の自然の瞬間をとらえ、その美しさ、尊さを余すことなく表現した傑作です。

生前、白旗氏は、父が旧八幡町の出身であることから、旧八幡町に本籍があり、第二のふるさとを公言し、鳥海山のことも「父の山」と呼んでいました。ふるさとを見つめる眼と日本級



の峰々を撮り続けてきたテクニクが
あいまっ
て、これ
らの作品
はまさに
氏の心
の象形
なのかも
しれません。

編集後記

父親が旧八幡町出身であり、旧八幡町に本籍がある山岳写真界の第一人者である「故白旗史朗氏」が撮影した表紙の写真も今号が最終となりました。ご満足いただけたいでしょうか。

次号から表紙の写真は新たなシリーズとなります。ご期待ください。また、今号から編集委員が新しくなりました。市民の皆様と議会の橋渡しとして、読みやすい、解りやすい紙面を心がけてまいります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

今号が市民の皆様の手元に届くのが2月1日。感染力が強いといわれている新型コロナウイルスの変異株「オミクロン株」の感染が広がらないことを願うばかりです。
(議会報編集委員会)

委員長 佐藤 弘

さかた市議会だより

発行／酒田市議会
議長 高橋 千代夫
酒田市本町二丁目2番45号
電話 (26) 5770
FAX (26) 5790
E-mail : gikai@city.sakata.lg.jp

※市議会だよりに対するご質問などがありましたら、気軽にお寄せください。